

野球場、サッカー場、スキー場 etc...

屋外大型スポーツ施設 電気音響システムのご提案

～大空間PAシステム～



大空間スポーツ施設のPAシステムはTOAにおまかせください。

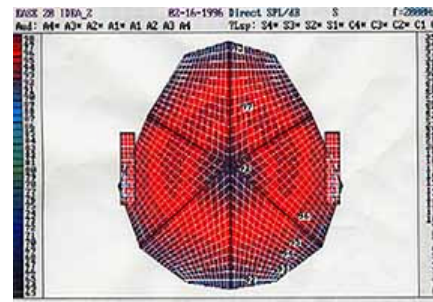
■フランススタジアム



ポール部のスピーカー

ワールドカップフランス大会98のメイン会場として熱戦が繰り広げられた本施設には、TOAのボイスアラームシステム（非常放送）ならびに業務用放送設備が導入され、スタジアム事務所をはじめ、駐車場、エントランスゲート等、施設全体の放送システムとして活用されています。広大な施設をカバーするのは、合計1550個ものスピーカー群。万一の故障時に備えコンピュータ管理による自己検知機能を組み入れるなど、確実な情報伝達をサポートします。

■福岡ドーム



音圧分布シミュレーション

日本初の屋根開閉式球場。最大収容人員約52,000人という大空間をTOAのサウンドが彩ります。イベントによって昇降、角度変化の可能なメインスピーカーをはじめ、高い明瞭性を実現するためにシミュレーションを繰り返し、最適なシステムをご提供しています。

大空間スポーツ施設のPAシステムはTOAにおまかせください。

■ウインブルドンテニス場



本コート全景

テニスの4大会の中でも、最高の伝統と格式を誇るウインブルドンテニス場。選手や審判、報道陣などが使用する本会場施設に、TOAのボイスアラームシステム(非常放送)とサウンドシステムが導入され、大会の運営に快適さと安心感をお届けしています。

■横浜国際プール



メインプール全景

国際公認で4,000人を収容するメインプールなど、多彩な施設を備えた国内最大級の室内水泳競技場。TOAはメインサウンドシステムをはじめ、施設全体の非常・業務用放送設備、運営・警備用監視カメラシステムも担当。快適かつ安全なコミュニケーションをトータルにサポートしています。

■長野県白馬ジャンプ競技場



ラージヒル(左)とノーマルヒル(右)

1998年冬季オリンピックで感動の舞台となった白馬村のジャンプ台。ラージヒル、ノーマルヒルと並んだ巨大なコースにTOAのサウンドシステムが導入されています。ジャンプ競技でのアナウンスはもちろん、コンサートなどのイベントにも心地よいサウンドを提供しています。

大空間スポーツ施設のPAシステムはTOAにおまかせください。

■豊富な現場ノウハウ①



広島国体開会式

音の専門メーカーとして創業以来60余年、TOAは長年にわたり大空間サウンドシステムの実績を積み重ねてきています。特に、スペシャルイベント時の開閉会式などでの豊富な実績が、そのままTOAサウンドシステムの高い信頼性を物語っています。

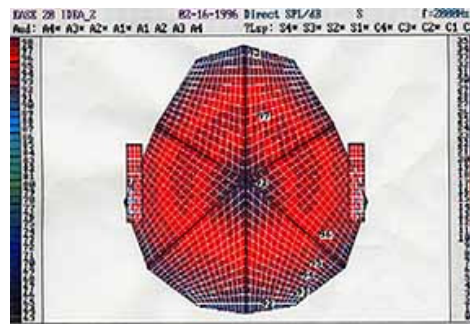
■豊富な現場ノウハウ②



広島国体開会式に
使用された分散方式のスピーカー

上記の写真は、広島国体開会式にあわせて開発された「スリムスピーカー」。コンパクトなボディは、既成概念にとられない、「観客席の前方から音を放射」するスピーカーレイアウトを実現するためのもの。80台あまりのスリムスピーカーで全観客席をカバーし、視認性の良さと高い明瞭性を両立。TOAの柔軟な発想と商品化力の好例です。

■音場シミュレーション による設計サポート



コンピューターによる
音圧分布シミュレーション画面

残響時間、周波数特性の解析をはじめ、音圧分布やエコータイムパターンをコンピュータで演算する音場シミュレーションは、いまやポピュラーな設計支援システムであり、簡易ソフトや可聴ソフトも普及しはじめています。しかし、シミュレーションはあくまで目安であり、それらを読み解くにはやはり熟練したエンジニアのノウハウが不可欠です。➤

■施工・お引渡しから メンテナンスまで



カスタマーサポート
セクション

音の専門メーカーTOAには、豊富な現場実績を積んだエンジニアが多数在籍しており、単なるシミュレーションには終わらない設計支援が可能です。もちろん、設計だけではなく、施工・お引渡し時のトレーニング・保守までお任せください。「機器ではなく音を買っていただく」それがTOAです。